

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回10月の「てがたん」は10月12日(土)で「鳥の渡りとモズの高鳴き」がテーマです。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは**10月5日(土)**です。よろしくお願いいたします。

9月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→桃山公園→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2013年9月14日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 27人 (一般16人、子ども11人)
- 市民スタッフ 8人 (伊東茂子、岡廣志、窪田憲史、竹本周平、弘寛さと子、松村定雄、水上香苗、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 3人 (塩田いづみ、小田谷嘉弥、村松和行)

観察記録 - 9月てがたんで観察した生き物リスト-

【鳥類】

カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/クイナ科：オオバン/カワセミ科：カワセミ/モズ科：モズ(声)/カラス科：ハシボソガラス/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/外来種や家禽：コバクチョウ、アヒル、ドバト

【魚類】

メダカ科：ミナミメダカ

【両生類】

アマガエル科：ニホンアマガエル

【は虫類】

カナヘビ科：ニホンカナヘビ

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：アオスジアゲハ、キアゲハ、アゲハ、ジャコウアゲハ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ/カメムシの仲間：ナガメ、ヨコヅナサシガメ、アブラゼミ、ミンミンゼミ(声)、ツクツクボウシ(声)/カマキリの仲間：オオカマキリ、コカマキリ/トンボの仲間：アキアカネ、ノシメトンボ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、ウスバキトンボ/バッタの仲間：ショウリョウバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ハネナガイナゴ、トノサマバッタ、ツチイナゴ、ウスイロササキリ、ホシササキリ、クビキリギス、アオマツムシ(声)、マダラスズ、エンマコオロギ、ミツカドコオロギ(声)、ツツレサセコオロギ(声)、ハラオカメコオロギ(声)

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、タカサブロウ、ブタナ/ゴマノハグサ科：ウリクサ、トキワハゼ/マメ科：ヤマハギ、ヤハズソウ、クサネム/ユリ科：ツルボ/トウダイグサ科：コニシキソウ/アカバナ科：ヒレタゴボウ、チョウジタデ/オモダカ科：オモダカ、ヘラオモダカ/ミズアオイ科：コナギ/カタバミ科：カタバミ/オトギリソウ科：キンシバイ(植栽)/アオイ科：ベニフヨウ(植栽)/ミソハギ科：サルスベリ(植栽)

9月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「バッタと秋の花」でした。親水広場周辺で虫とりをしながら、直翅目の昆虫を観察しました。天気もよく、トノサマバッタが元気よく跳んでいました。植物はヤマハギやヤハギソウなどマメ科の植物を観察しました。

鳥類は水浴びをするスズメやカワラヒワを観察し、来月のテーマでもあるモズの高鳴きが聞こえました。

今月の案内人 弘貴さと子さん



1 親水広場隣の少し湿った草地で虫とり



2 バッタの中で一番多く捕まえたコバネイナゴ



3 目の下に涙のようなラインがあるツチイナゴ



4 バッタの中でも一際大きいショウリョウバッタのメス(褐色型)



5 ツルボの花にハチ(種不明)が集まっていた



ホシササキリ

草丈の低い草地で見られるキリギリスの仲間。ウスイロササキリによく似るが、前翅に黒い点がある。全長 21~27mm。



9月てがたんの観察生物とルート

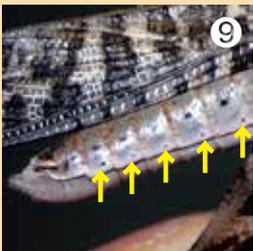


ウスイロササキリ

草地や水田などでよく見られるキリギリスの仲間。後翅が長い。全長 25~35mm。今回のてがたんで一番多く捕まえた。



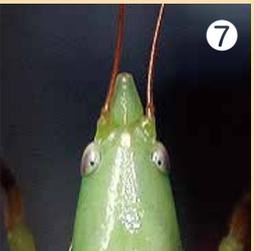
12 用水路でみつけたチョウジタデは湿った場所を好む多年草



9 トノサマバッタ(褐色型)の腹部にある気門(呼吸するための穴)



8 タンボコオロギのメスの産卵管



7 尖った帽子のような形のクビキリギリスの頭



6 水の館前の用水路沿いで捕まえた虫を観察

今月の鳥 鳥の囀(ねぐら)

我孫子市では天王台駅前のムクドリの囀が話題になります。ムクドリは春の繁殖が終わった頃から囀をつくり始め(夏囀)、冬が近づくと河川敷などに移動して囀をつくります(冬囀)。

我孫子市では2007年から定期的に天王台駅周辺のムクドリの囀調査を行っており、その結果は市役所ホームページから見ることができます。

2007年の調査では、6月にはすでに1000羽以上がカウントされ、8月には1700羽以上と最も多くなりました。個体数は10月頃から少なくなり、ケヤキが落葉する12月上旬にいなくなりました。このことから天王台駅前は夏囀として利用されていることがわかります。ムクドリの大部分が北東や東の方向から飛来しており、河川敷のゴルフ場の芝生や古利根沼周辺の水田で餌を採った後、飛来していると考えられます。



天王台駅前のムクドリ(2007年)